

資本萎縮の影響は忽ち労働に對する資本側の意識的攻撃とあり、最近の経済界の不況と共に労働争議は益々増加の傾向にある。

本年劈頭に勃発せる共同印刷株式會社の労働組合の確執も會社の経営難に對する挽回策としての労働組合員の淘汰運動と懸はる心。

出版労働組合第一支部は一月十九日の交渉決裂より同盟罷業を開始し苦戦中に二月三月十八日に至り漸く終熄した。この二ヶ月に亘る盟休は労働者側の惨敗を以て局を結び、爲めに出版労働組合と其母体たる日本労働組合評議會との受けたる影響の甚だ深かりしは組合自体としても痛惜に堪えざる所であらう。

即ち茲に其の真相を録し併せて現在労働運動の外相と其の心理とを明かせんとするものである。